

西宮市は令和7年(2025年)に市制施行100周年を迎えます

# 特別な1年に向けてみんなで盛り上がりましょう!

問 政策推進課 (0798・35・3125)

一般使用が可能に!

## ロゴマーク・キャッチフレーズ

市は、市制100周年を記念して作成したロゴマークとキャッチフレーズの一般使用を開始しました。ぜひこの機会に活用してください!



パンフレットやチラシなどに!



商品化も可能!



たのしみや  
ししのみや



※有償の場合あり。使用マニュアル等の詳細を必ず確認してください (HP) 36705802

もうチェックした?

## 西宮市公式Instagram

フォローはこちらから!

100周年に向けて、市公式Instagramを開設しています!アカウントをフォローして、西宮の魅力を再発見してみませんか?



45投稿 2,791フォロワー 0フォロー中

西宮市【公式】  
「たのしみや、ししのみや」  
2025年西宮市制施行100周年  
西宮の多彩な魅力を再発見\*\*できるアカウントです。  
インスタを通じて  
一緒にまちあるきしましょう!



2/21  
22

テーマは「愉(たの)しむ」

## 宮水学園祭 @市民会館など

市は、生涯学習大学「宮水学園」の「宮水学園祭」を開催します。

受講者が宮水学園各コースや自主グループ活動で製作した作品の展示発表やこれまで取り組んできた成果となる舞台発表を行います。

入場無料。ぜひご来場ください。



部門	日時	会場	内容
作品展示	2月21日(水)・22日(木)の午前10時~午後4時	市民会館、ギャラリーアミティ	書や絵画、手芸、写真など
舞台発表	2月22日(木)の正午~午後3時半	アミティ・ベイコムホール	合唱やダンス、マジックなど ※市消防音楽隊の賛助出演あり

### 生涯学習大学「宮水学園」

60歳以上の市民を対象に地域社会づくりに取り組む力を培い、健康で生きがいのある生活を創造するための学習と交流の場を提供。「教養コース」「選択コース」「塩瀬・山口地域講座」などを開催している

問 地域学習推進課 (0798・35・5165) (HP) 48320815

3/2  
(土)

スポーツ体験会・おまつり・キッチンカーなど盛りだくさん!

## 西宮 交流フェスティバル

3月2日(土)午前9時から中央体育館、中央陸上競技場などで「西宮交流フェスティバル」が開催されます。

子供から大人まで参加できる多種多様なプログラムを用意。アスリートから学ぶマルチなスポーツ体験会や当日参加できる「おまつり」など楽しめるイベントが盛りだくさんです。ぜひお越しください。在勤・在学者可。



主な催し

体験会(野球、ミニバスケットボール、3x3&サッカー、かけっこ、親子でサッカー&アメフト、ポッチャ、ダンスなど)、ヨガ、えほんとたいそう、健康チェック、食育講座、フレイル予防講座、おまつり&あそびのひろば、ものづくり体験会、キッチンカー ほか

定員

あり。先着順

申込方法

2月14日午前9時から  
西宮スポーツセンターHP



開始時間・対象・参加費等はイベントにより異なります。詳細は同センターHPで確認を

問 西宮スポーツセンター (0798・73・7581)

3/2  
4/21

## 「須田国太郎の芸術」展

—三つのまなざし— 生誕130年 没後60年を越えて

京都国立近代美術館蔵  
▲鶴巻1952年



西宮市大谷記念美術館では近代絵画史に偉大な足跡を残した洋画家・須田国太郎の油彩画の代表作と、写真や能・狂言に関するデッサン等を展示します。

問 西宮市大谷記念美術館 (0798・33・0164)

関連イベント

### オータニミュージアム・コンサート チェロ&ピアノ デュオリサイタル

講演会やスライドトーク、ワークショップも開催!  
詳細は同館HP



【日時】4月7日(日)午後2時~ 【対象】小学生以上  
【定員】100人。先着順 【申込】3月17日午前9時から電話で同館

開館時間: 午前10時~午後5時(入館は4時半まで)。水曜(3月20日を除く)、3月21日休館  
入館料 : 1200円。高校・大学生600円、小・中学生400円  
※市内在住者は証明書提示で1000円(65歳以上は600円)

## 能登半島地震 被災地を支援

能登半島地震により、甚大な被害が発生しています。市では、市役所本庁舎総合案内所等に募金箱を設置しているほか、関西広域連合が決定した対口支援(カウンターパート支援)先の石川県珠洲市を中心に、支援を行ってまいります。支援状況は、市のホームページ(HP86722815)でお知らせしています。問合せは地域防災支援課(0798・35・3618)へ。



今回の被災地にその時のご恩を返し、「絆によって復興という春を呼び起こす」、そうした強い思いで支援していきたいと思えます。



▲消防局職員の被災地での活動の様子

今から29年前、阪神・淡路大震災では震度7の地震が本市を襲い、私たちのまちは壊滅的な被害を受け、一瞬のうちに、かけがえない多くの尊い命が奪われました。未曾有の震災被害を受け、市の地域防災計画に地震災害対策が盛り込まれる等の見直しが行われました。現在は、震災の復旧・復興の経験や教訓を継承し、災害時被害の最小化を図る「減災」を基本理念とした計画となり、総合防災訓練の実施や防災マップの全戸配布など、災害への備えに取り組んでいます。

本市は阪神・淡路大震災の日から、全国の方々の温かいご支援に励まされ、阪神間の核都市として復興を遂げることができました。今回の被災地にその時のご恩を返し、「絆によって復興という春を呼び起こす」、そうした強い思いで支援していきたいと思えます。

能登半島地震が元日に発生し、大きな衝撃を受けました。西宮は発災後から県や関係機関からの要請に応じて支援を実施しています。上下水道局は給水車を、消防局は緊急消防援助隊として人員を派遣、事務職員も避難所応援に向かい、被災地の支援のために奮闘しています。今後は保健所から保健師の派遣等を予定しています。

石井市長の  
てくてく句  
歳時記

雪解風  
きづなつむぎて  
復興へ

西宮市長石井登志郎

今月の一句!